

須賀神社

所在地 東京都新宿区須賀町5
建速須佐之男命(牛頭天王)、宇迦能御魂命(稻荷大神)
例大祭 六月第1週 土日 (隔年本祭)



台座:三尺三寸(100) 建造年度:昭和51年
製作者:下谷・大槻装束店
特記: 延軒屋根・平屋台造り 渡御の氏子町
会ごとに擬宝珠を鳳凰と葱花に取り替える

須賀神社は、四谷18ヶ町の総鎮守。

御祭神は、建速須佐之男命(牛頭天王)と宇迦能御魂神(稻荷大神)の両神を祀っています。

宇迦能御魂神(稻荷大神)は、赤坂一ツ木村の鎮守で、清水谷にあった宝蔵院の稻荷社を、寛永十一年(1634)江戸城外堀普請のため、現在の地へ遷座いたしました。

須佐之男命の鎮座は、同十四年(1637)四谷門外明地が、日本橋伝馬町の助役地になったため、大伝馬町の産土神、神田明神の境内にある牛頭天王を勧請して、御仮屋横丁に小祠を建てました。これが次第に繁昌したので、氏子が相談の上、寛永二十一年、寺社奉行、町奉行に願い出て、同年6月18日、宝蔵院稻荷社殿に遷座し、「稻荷天王合社」となり、俗称四谷天王社と云い、明治維新まで親しまれて来ました。

須賀神社に改めたのは、明治元年新政府の強制で、かつて出雲で須佐之男が八岐大蛇を退治した時、

吾れ此地に至りて心須賀、須賀し

と宣って宮居を占めた故事に基づき名づけられた。総本社は鳥根県にある。

「天王祭」は江戸五大祭りとして、大変な賑わいを見せていました。

明治五年に郷社に昇格、戦後は制度の改正により、旧社格は撤廃されました。

また、境内には大鳥神社があり、大鳥神社の酉の市は、浅草に次ぐ東京第二の賑わいと言われていました。

氏子町会 四谷一丁目、同二丁目、同三丁目、同四丁目、本塩町、
三栄町、坂町、荒木町、愛住町、舟町、片町、左門町、信濃町、
須賀町、若葉町一丁目、同二丁目、同三丁目、南元町